



あつみ まこと
渥美 誠さん(68歳) 愛西市落合町

消費者に選ばれる品質を

今年で農業を営んで50年を迎える渥美さんは、農業高校卒業後に家業であったトマト農家として就農しました。現在は当JAの🍅トマト部会と産直部会に所属し、奥様とパートさん、ベトナムからの外国人技能実習生の4名で農業を営んでいます。栽培面積は40アールで、トマトに加え、キュウリやコマツナをハウスで栽培しています。

トマトは繁忙期になると連日休む間もなく収穫作業が続くため、労働力の確保が課題だったと話す渥美さん。そこでJAに相談し、2年前から外国人材の雇用を新たに始めました。当初は農繁期限定の派遣として受け入れてきましたが、「意欲のある良い人に長い間働いてもらいたい」という思いから、常時雇用ができる体制を整えることを決意。トマトが農閑期となる夏場も安定的に雇用を維持できるようにと昨年からキュウ

リとコマツナを新たに栽培し始め、愛菜耕房や菜々耕房に出荷するようになりました。

産直での販売について渥美さんは、「品質には自信を持って出荷していますが、価値を決めるのは生産者ではなく消費者の皆さん目の目覚めた際は、それが自分の野菜の価値なのだと結果を真摯に受け止め、もっと品質の良いものをお届けしようと栽培の励みにしています」と語ります。

今後については、「良いものを一生懸命作るのが農家の仕事だと思っています。自分の育てた野菜が消費者の方々に選んでいただけよう、これからも品質にこだわって農業を続けていきたいです」と笑顔で話す渥美さん。

最後に消費者の皆さんに向けて、「産直は農家が真心を込めて育てた野菜が新鮮な状態で買える魅力的な場所です。ぜひ多くの方にお越しいただき、地元で採れた野菜を美味しく召し上がっていただきたいです」とメッセージをいただきました。

